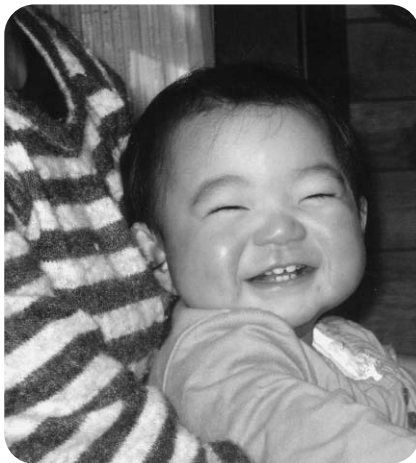


すこやかちゃん



ゆい か 唯花ちゃん・だい ち 大馳ちゃん
(平成19年8月26日生・平成22年7月5日生)
両親＝渡邊智樹・由香里さん〔蛇園〕
「2人はとても仲良し♡ いつも一緒だよ♡」



み わ 美和ちゃん(平成21年10月5日生)
両親＝木内豊和・美奈子さん〔江ヶ崎〕
「ママのピアノをおひざの上できくのが大好き！」
笑顔でノリノリ!!



たい き 大輝ちゃん(平成22年3月7日生)
両親＝佐藤哲也・茂子さん〔大塚原〕
「いたずらが大好き☆」
さあ、次は何をしようかな?」

すこやかちゃんを募集しています

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課にあります。



ふるさとの自然

13

大空を自由に飛び回る ツバメ

大空をスイスイと飛ぶツバメの姿を見掛けるようになると、いよいよ春も本番です。

○アクロバット飛行の名人

地面すれすれを猛スピードで飛んだり、突然くるっと向きを変えたりするツバメ。ほかの鳥にはまねができない飛び方です。瞬間的には時速200kmものスピードが出るそうです。18gほどの軽い体と細長い翼、深く切れ込んだ長い尾がこの飛び方ができる秘密です。大空を自由自在に飛び回り、飛んでいる虫を捕まえて食べます。

○泥とわらで巣作り

渡ってきたツバメは、雄と雌が協力して泥とわらを運んで巣を作ります。せつかく作った巣をスズメに壊されたり、乗っ取られたりすることもあります。ひなは、3週間ほどで巣立ちますが、その間親鳥は毎日300回ほど餌を運びます。

○暖かい南の国で冬越し

巣立ったツバメは餌の多い田んぼの近くに移動し、虫をたくさん食べて体力を付けます。電線にずらりと並ぶツバメの群れ



を見るのはこのころです。夜の川の岸辺の広いアシ原で、集団で眠ります。秋の気配が感じられるころ、冬を越すために台湾、フィリピン、マレー半島などの南の国に渡って行きます。

○商売繁盛の印

軒先や家の中に巣を作るツバメは大昔から人々に親しまれています。日本最古の物語のかぐや姫のお話にも「つばめの子安貝」が出てきます。人が多く出入りする商店などによく巣を作るので、商売繁盛の印ともいわれます。人の家は、天敵のカラスやヘビなどが近づきにくいことを知っているのでしょう。

(齊藤敏一)

暮らしのカレンダー

- 7日(木) 中央小・海上中・市内高校入学式
- 8日(金) 市内小中入学式(中央小・二中・海上中を除く)
- 9日(土) 二中入学式
- 11日(月) 旭中央病院附属看護専門学校入学式
- 17日(日) 春のへら鮒釣り大会(午前6時～ 袋東ため池)
- 29日(金) 昭和の日

編集後記

被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。いまだ余震が続く中、皆が、ぐっすり眠れない日々を過ごしています。今回の災害で、最も被害の大きかった飯岡地域。つい1か月半前、多くのランナーが笑顔で走り抜けていたその街は、見る影もなく変わり果てた姿で私の目の前に広がっていました。復興には長い時間がかかるでしょう。しかし、どんなに長く寒い冬も、必ず暖かな春はやって来ます。まずは自分にできること……。少しの思いが大きな力に変わります。(ま)